令和4年12月
第2号

高島市議会 真志会 広報

真志会とは

高島市議会において、澤本長俊、磯部亜希の二人で、令和４年２月に新たに結成した会派です。“志をまっすぐにという思いで、真志（まごころ）を込めて活動していく”そんな想いで名付けました。







会派視察

R4年10月 北アルプスエコパーク（長野県大町市）

９月末に高島市の新ごみ処理施設建設候補地が「安曇川町田中地先（泰山寺区）」に選定と発表されました。そこで、これからの建設にあたり私たちも一緒に考えていくべきという想いから、候補地選定において、**２度の断念**を経験されたことがあり、**施設の規模も４０ｔ／日（２０ｔ／日×２炉）と、高島市が想定している規模（今後策定される計画で見直す予定だが、R元年度の施設整備基本計画では５２ｔ／日（２６ｔ／日×２炉））に比較的近い**北アルプスエコパークの事例を調査してきました。



搬入の様子



投入の様子

● 北アルプスエコパーク

北アルプス広域連合（大町市・白馬村・小谷村）によりごみの焼却が行われています。
２０１８年稼働、ストーカ方式。

経緯

H19.2	建設候補地選定	白馬村飯森地区	→	H21.1	断念
H22.10	建設候補地選定	大町市三日町	→	H23.11	断念
H24.10	建設予定地決定	大町市源汲	→	建設へ至る	

住民理解を得るためにされたこと

01 専門家による**講演会** **4回**（参加者計 222名）

02 先進施設の**見学会** **3か所**（参加者計 161名）

03 地元・周辺自治会**説明会** **約2ヶ月間**（参加者計 119名）

04 経過説明会 **2回**（参加者計 53名）

施設設備

●プラント冷却水は地下水。（地下水利用できる所が選ばれた。）上水道水も少し利用している。
●余熱は施設内で、給湯用温水設備、ロードヒーティング設備（薬剤保管場所等敷地内）、暖房用設備に利用。
●景観面の配慮として、干渉帯を確保して松林等で囲み、遠方からは煙突だけが見える状態。

地元・周辺区への地域振興策

●地元へは、交付金はないが、賃貸借である土地の地代が毎年支払われている。
●雪の多い地域であり、その除雪回数を増やすことや、道路の整備・拡張等の要望にできる限り応じている。
●施設内にある入浴施設を使用したいという要望があり、地元・周辺の方は必要に応じて利用できるようにしている。

旧施設について（広域連合内に以前は焼却施設が２か所あった）

大町市 → 旧施設は、焼却施設は解体し、リサイクルセンターは引き続き利用する予定。

白馬村 → すべて解体予定だったが、**地元の要望により、**リサイクルセンターとして利用している。

以上から、地元・周辺区の方々の理解が得られるように、行政が、見学会や説明会を行い、想いや意見を汲みとってできるだけ要望に応えようとする姿勢をとられてきたことがよくわかりました。今回で得た知識を担当課と情報共有し、高島市での今後の進め方がより良いものとなるように取り組んでいきたいと考えております。

発行責任者：澤本 長俊　滋賀県高島市新旭町北畑565番地元　ご意見・お問い合わせ：澤本 0740-38-2153　磯部 090-2381-5067

R4年10月

特別養護老人ホーム 稲毛こひつじ園（千葉県千葉市）



ヒアリングの様子



外国人スタッフと共に

９月定例会で来年度から、特別養護老人ホームやまゆりの里（朽木）の指定管理者制度での管理運営が**社会福祉法人初穂会（千葉県）**に決まりました。この初穂会は、千葉県で稲毛こひつじ園を運営され、外国人スタッフの雇用にも意欲的です。どのような運営がされているのか、また、運営をされている方々はどのような想いをもたれているのかを調査し、その結果をやまゆりの里に関わる方々へお伝えすることで、不安や疑問が少しでも和らげられればという想いで視察しました。

やまゆりの里への思いを聞き取り

●施設の周辺には、園・小学校・中学校がそろっているため、家族一緒に移住して現地での定住につながっていくと、人口増に貢献できるのではないかと思う。

●職員には外国人も人材として考えている。外国人と地元の方や、施設のことがよくわかる方とが一緒になって働いてもらいたい。

外国人スタッフへの聞き取り

●母国で三世代同居であったため、利用者の方を自分の親や祖父母のように感じる。

●仕事は楽しいが、日本語がとても難しく、困ることもある。日本人スタッフは優しく、わかりやすく話してくれる。（私たちとの会話では流暢な日本語でした）



施設内の様子



野菜販売

私たちが訪れた際、外国人スタッフの方２人と話をすることができました。お２人とも温和で誠実な印象でした。アジア系の方だったので日本語を話されるとかなり親近感を覚えました。

初穂会の理事長は、**他の複数の自治体でも福祉施設の運営に携わっておられ、山間地での経験もあり、**かなりのノウハウを持たれているように感じました。また、**地元地域との交流に対して積極的**であり、フードバンクや農園も行い、地域に根付いていきたい思いが感じられました。今回の調査でわかったことを地元の方や関係者等にお伝えしていきたいと考えています。

R4年9月

代表質問 澤本 長俊

今後の環境センター後継処理施設運営に向けて



建設地の周辺区への対応を考えるべきではないか。

ご意見等を十分聴き取らせていただき検討することが重要と考えます。



これまで、地震や水害といった災害に対する課題が理由で2度の予定地決定を断念することとなりました。
今回、安曇川町泰山寺区が候補地にあげられましたが、この地は水害のリスクは低く、地震についても断層から一定の距離があることから、現在の環境センターや2度断念した箇所のように断層直下でないことから比較的に、地震によるリスクは少ないのではと考えられます。
そういったことから、地元区は元より、周辺区にも、ご理解いただけるようしっかり説明会や見学会等を行い、要望等も聞き取り、前に進めていただきたいと考えます。

詳しくは こちら

澤本 長俊

議会中継の様子（動画）

高島市議会だより ８６号

磯部 亜希

議会中継の様子（動画）

高島市議会だより ８６号

R4年9月

一般質問 磯部 亜希

高校生とその保護者への支援について

子育て施策が充実されているものの、経済的負担が大きくなっていく世代である高校生とその保護者を対象にした支援の充実を願い、通学定期券等購入や奨学金返還などの支援について質問しました。



医療費無償化の高校生まで拡充について。

国・県の動向や施策の優先順位などを見極め総合的に判断していきます。



スマホ教室による高齢者のデジタル・デバイド解消について

高齢者の方もスマホを使って、災害時の情報取得や様々な申請ができるようになるためには、スマホ教室の充実が必要と考え、質問しました。



公民館教室でのスマホ教室開催について。

安曇川公民館で１２月に開催するほか、他でも開催する予定です。

